

新しん 緑みどり ニュース



病院の理念

確かな医療技術
やさしい対応
地域への貢献

さんきかい よこはましんみどりそうごうびょういん
医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院
〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7
TEL. 045-984-2400(代表) FAX. 045-983-4271
発行 地域医療連携室 TEL.045-984-6216(直通)



第2回 緑すこやか健康講座を開催しました

9月7日(土) 緑公会堂にて当院と牧野リハビリテーション病院の共催による「緑すこやか健康講座」を開催しました。当日は残暑厳しい中、緑区をはじめ、旭区や青葉区など近隣区や横浜市外からも多くの方にご来場いただき、参加者は415名となりました。

第1部「頭のあれこれ～他では聞けないこんな話は～」(当院脳神経センター長 岸博久医師)は、心臓や糖尿病と脳の関係、認知症(特にアルツハイマー病について)を中心とした内容でした。第2部「脳の病気のいなし方～脳卒中・脳腫瘍・治る認知症・顔のピクつき～」(当院脳神経外科部長 小菊実医師)では、脳卒中や脳腫瘍の最新の治療に加え、“治る認知症”として慢性硬膜下血腫や特発性正常圧水頭症について、また顔面けいれんや三叉神経痛など、脳神経に関わる病気と治療について幅広い内容の講演でした。参加された方からは、「なんとなく分かっていた事の区別が良かった(脳卒中・t-PA療法・カテーテルなど)」といった感想をいただきました。「不安を感じているより、早めの検査をしようと思います」「脳の異変を感じたら、迷わず病院へ行きます」とのアンケートの記載から、症状があればいち早く受診することの重要性をご理解いただけたことと思います。



第3部「自宅で生活するために～回復期リハビリテーションについて～」(牧野リハビリテーション病院神経内科部長 秋山克徳医師)では、回復期のリハビリテーションについて、実際の訓練の様子を写した動画を交えながら具体的にご説明いただきました。「リハビリでは身体を動かすことが大事なことだと、よくわかりました」など、治療後のリハビリテーションの重要性を認識していただくとともに、「普段から体を動かすことの重要性がわかりました」という感想も聞かれました。

アンケートでは、今後も多くの健康講座を望む声をいただき、皆さまの健康への関心の高さが伺えました。当院では、これからも様々なかたちで健康講座を開催し、地域の皆さまに病気や予防に関する情報を発信してまいります。

糖尿病教室 開催案内 1回目のみ曜日が異なります。11日と18日の内容変更をご了承ください。

糖尿病診療に関わるスタッフが、糖尿病について分かりやすく説明します。糖尿病の方、ご家族の方、糖尿病でなくても気になる方は、どなたでも参加できます。参加をご希望の方は、お気軽にご連絡ください。045-984-2400(代)

10/1(火)	糖尿病の基礎知識	10/18(金)	食事療法について
10/11(金)	薬物療法について	10/25(金)	生活上の注意点/運動療法

- 時間 15～16時
- 場所 3階職員食堂
- 受講料 無料



MOA美術館緑区児童作品展 巡回展のお知らせ

当院は毎年「MOA美術館緑区児童作品展」に協賛し、地域の子供たちを応援しています。巡回展として入賞作品を外来ロビーにて展示し、患者さまやご来院の方々にすばらしい作品をお楽しみいただいております。今年は下記の期間、作品を展示いたします。

10月7日(月)～20日(日) 場所: 外来会計カウンター前

病院へお越しの際は、色鮮やかで発想力豊かな子供たちの作品を、ぜひご覧ください。



昨年の様子



認知症看護認定看護師紹介

認知症の方は、記憶・見当識などの認知機能障害により環境の変化に順応することが難しく、入院という新たな環境はストレスや不安となります。それにより混乱することで、認知症の悪化、A D L（日常生活動作）・Q O L（生活の質）の低下を招く可能性があります。そのため、ストレスや不安の軽減を図り、混乱を予防していくことが大切となります。

認知症看護認定看護師として専門的な知識と技術を活用し、安心できる療養環境の調整、個々にとって必要なケアを一緒に考え支援していきます。

看護部 主任 認知症看護認定看護師 江本 大輔



シリーズ健康豆知識 「お薬手帳の活用方法」

お薬手帳は、自分が普段服用しているお薬を把握し、正しく伝えることができるものです。

お薬による治療をする際には、飲み合わせ、相互作用、抗血栓薬など検査や処置の際には申し出て欲しいお薬の服用有無などを確認することが必要です。これらは、お薬手帳を提示していただくことで確認できます。

《 お薬手帳活用のポイント 》

1) 経時的に記載しましょう

お薬を交付する薬局で記載してもらえます。手帳を忘れた場合には、手帳に貼付できるようにシールで発行されることもありますが、必ず手帳に貼付しましょう。

2) 1冊にまとめましょう

病院ごとに分けてしまうと、飲み合わせや重複を確認することができませんので1冊にまとめましょう。

3) アレルギーや副作用があったら記載しましょう

気分が悪くなったものや湿疹などの副作用と思われる症状があった場合は、記載しましょう。

お薬手帳は、いざという時の強い味方です。是非、活用してください。

薬剤部 科長 関口 信香



地域健康講座のご案内

※参加費無料・先着順受付

10/12
(土)

第2回 ふれあい健康講座 主催：横浜市白山地区センター

「ガンコな咳（せき）」 ～原因や治療・予防について～

講師：横浜新緑総合病院 副院長 兼 内科部長 堀地 直也

時間：13：30～14：30

会場：横浜市白山地区センター 中小会議室（鴨居駅より徒歩7分） 定員：50名

お申込み：電話 045-935-0326 又は白山地区センター窓口にてお申し込みください。



10/19
(土)

みんなの健康講座 主催：横浜新緑総合病院

「糖尿病の合併症について」 ～正しく理解して予防しよう～

講師 横浜新緑総合病院 内科 岡田 千穂（糖尿病専門医）

時間：13：30～14：30

会場：十日市場地区センター 2階中会議室（十日市場駅より徒歩5分） 定員：50名

お問合せ：地域医療連携室 045-984-6216（直）045-984-2400（代）

みんなの健康講座
（十日市場地区センター）
11、12月はお休みです

11/9
(土)

第2回 健康づくり講座 主催：東本郷地域ケアプラザ

「認知症って？」 ～何が本当～

講師：横浜新緑総合病院 脳神経センター長 兼 脳神経外科部長 岸 博久

時間：13：30～14：45

会場：横浜のみどりハイム（ミニバス バス停「第3団地」 徒歩2分） 定員：70名

お申込み：電話 045-471-0661 東本郷地域ケアプラザまで

